

豊かで 住みよい 町づくり

上 勝

Vol.

82

議会だより

2021. 8. 1 発行

- 2P 第2回定例会 補正予算
- 3P 審議案件と議決結果
- 4P 主な質疑・討論
- 5P 一般質問
7名が町政について質問
- 12P まちのようす

Table with columns for proposal number, name, amendments, discussion, results, and council members' votes. Includes items like 'Special Resolution No. 2', 'Special Resolution No. 3', and various reports.

専決第2号 令和2年度 一般会計補正予算 (補正第8号)

補正額(減額) 1億1,962万円 総額 36億5,592万円

- Main items for Special Resolution No. 2: 商工 商工業振興費 第3次町産業等持続化給付金 2,000万円; 衛生 新型コロナワクチン接種対策等費(組替え) 1,312万円; 商工 商工業振興費 町雇用推進事業補助金 1,000万円.

第2回定例会

閉会期 令和3年6月11日

専決第3号 令和2年度 国民健康保険(診療施設勘定) 特別会計補正予算 (補正第4号)

補正額(減額) 1,313万円 総額 1億7,708万円

- Main item for Special Resolution No. 3: 総務 一般管理費 工事請負費(国補)一般会計対応 1,313万円

専決第4号 令和2年度 簡易水道事業特別会計補正予算 (補正第2号)

補正額(減額) 618万円 総額 4,554万円 事業費 工事請負費(町単) 417万円

令和3年度 一般会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加) 4億2,176万円 総額 27億9,976万円

- Main items for FY2023 Supplemental Budget: 商工 商工業振興費(仮称)地域拠点交流施設整備 8,580万円; 土木 道路橋梁新設改良費 2,440万円; 消防 非常備消防費 4,470万円.

令和3年度 国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加) 574万円 総額 1億9,074万円 予備費(前年度繰越金) 531万円

令和3年度 介護保険特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加) 1,110万円 総額 3億8,110万円 国庫・県支出金・精算返還金等 525万円

令和3年度 国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加) 571万円 総額 1億2,271万円 予備費 426万円

令和3年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額(追加) 103万円 総額 4,701万円 保険料・納付金 103万円

議案第54号 令和3年度
上勝町一般会計補正予算
(補正第1号)について

問 酒井議員

空き家対策モデル事業として、募集ターゲットは絞られているか。

答 吉積企画環境課長

「U・J・ターン」の移住希望者という段階である。

問 岡本議員

「ごみ処理費の内訳は、

吉積企画環境課長

トラックスケール・雨どい・縦どいと、その着色分である。

問 田中議員

福原集荷場の問題は、町はJAとともに、集荷機能の存続など、住民が不安、疑問に思っていることについて町民に説明し理解を得る努力をすべき。また、この間においては、予算は執行をすべきではないのでないか。

答 花本町長

ブレハブの集荷場や冷蔵庫はJAが整備し、屋根は町が整備する。また、現集荷施設は貸し事務所として改修する。予算執行までにJAと町が担当部分を区分し、住民に説明したい。

問 田中議員

地域拠点交流施設が、なぜ必

要なのか、どのように産業の振興につながっていくのかについて住民に説明する必要があるのではないかと。

答 花本町長

2040年に人口1,000人という目標のためには、町内で生産活動を共に行う者を募集しない限り将来が不安視される。この問題を解決するために貸し事務所を整備したい。これが、将来につながる有効なものと思

っているので、しっかりと住民に説明したい。

問 明本議員

拠点交流施設の設計委託はプロポーザル方式で行われたが、集荷所をここに置くという案はなかったのか。

答 井本参事兼産業課長

プロポーザルでは、集荷所を置く案はなかった。

問 明本議員

写真による魅力発信事業として、大杉平さんの写真を活用するものなどに、1,000万円近くの予算が計上されている。これがどのように町民や国民に対して伝達されるのか。

答 吉積企画環境課長

魅力発信事業については上勝町の広報に使う。写真の展示会等々を上勝も含めて開催する予定。それにより上勝の交流人口を増やしていく。ゼロ・ウェイストチャンネルは5分程度の動

画を15本上げていく予定。その後検証を行い、効果がなければ次からは行わない。

討論(原案)

賛成 田中議員

福原集荷所の件については、町長より住民の意見を十分聞いたうえで、予算を執行するのと、町の努力を願って賛成する。既に土地購入費及び設計委託料は執行又は執行中である。

反対 明本議員

幅広い請願者の願いを否定している。修正動議以外の原案は賛成である。

賛成 岡本議員

農協の説明不足が大きな原因である。原案に対して問題はない。

反対 酒井議員

各地区や代表者に説明がない。原案の福原集荷所の部分に関して反対。

反対 高石議員

福原集荷所の件にのみ反対で、その他の部分には賛成。

修正動議

提案理由

補正第1号原案から、地域交流施設(貸事務所整備に係る8,965万円を減額修正するものである。原案は、集荷所維持を求める住民農業者139名の請願を全く無視したものである。原案は

生鮮食品を扱う集荷所を吹きさらしの戸外に追い出し、屋内に小事務所5室、大事務所2室を作る空虚な物である。一旦白紙に戻し再構築すべきである。

討論

反対 なし

賛成 高石議員

139名の請願が出て議員全員が賛成した。一度白紙に戻し、再度委員会や住民など多くの方で考え、一番良い方法を取るべきだ。

賛成 酒井議員

交流施設というよりは単なる貸事務所。計画は町民の意見を聞かず進めた事業。削除または凍結して町民の声の下に再構築すべき。

町道に切り替える計画と舗装の計画はあるのか。

答 中原参事兼建設課長

簡給施設までを今回認定し、上の方では町道認定する計画はない。舗装もしばらく未舗装でいきたい。

発議第4号 町民の声に関する提言書の決議

「町民の声に関する提言書」の概要

町民から寄せられる様々な意見、要望、提案、苦情等に対して誠実かつ適切に対処することは、住民と行政が信頼関係を構築し、協働してまちづくりを推進する上で必要不可欠である。そのことに鑑み、住民からの意見等に対して行政は、

①業務の見える化を図り、事務の共有化・標準化を行うこと。

②重要性等に応じ記録化すること。

③迅速かつ適切に回答すること。など3点について提言した。

問 明本議員

どういった基準で要望等を記録化するのか、ルールを決めてはどうか。

答 田中議員

要望等の重要度に従い文書化する。見える化、規程化し、行政側が判断する。

新田診療所事務長

高齢者の接種では、発熱、倦怠感、嘔吐、筋肉痛の症状を発生した例はあるが、アナフィラキシーなどの強い副反応を発生した例は今のところない。

問 クラスターが心配される学校等の12歳以上の児童・学生や教職員等に優先的に接種できないか。

答 清井住民課長

12歳から15歳までの子供は、保護者に意向調査をした上で接種の体制を整える。

要望 学校等はクラスターが発生するリスクが高いことを念頭に、保護者が希望する場合は、子供たちの命と健康を守るため優先的に接種すべき。

問 キャンセル発生時のワクチンの活用は。

答 清井住民課長

高齢者施設の従事者に接種。7月以降はキャンセル対応リストを作成し、1回目接種が8月以降の

問 森副町長

上勝町は人口問題等に直面し曲がり角にある。町内資源を活用し、人材の確保や山林・空き家の活用が重要。町内でお金を回す仕組みをつくり、子育て、結婚、移住、住宅、地場産業の振興などに投資すべき。理事者と議会が両輪となり町の発展を図っていただきたい。

問 この度退任される森副町長に、「上勝町への思い」などを聞かせたい。

答 森副町長

7月から64歳以下で基礎疾患のある方や高齢者施設従事者、60歳から64歳の方を優先的に接種。集団接種は9月14日頃で完了する予定。

問 森副町長の退任

答 清井住民課長

住民を対象に意向調査を行う。役場職員も急なキャンセルに対応する。

問 感染リスクの高い職業の方などが、家族や職場等への感染を防ぐため自己でPCR検査を受ける動きが広がっている。感染拡大を防止する観点からも検査費用の補助制度が必要と考えるが如何か。

答 花本町長

町民を守る観点からは必要であるが、国や県等の要請を無視してリスクのある地域へ旅行等をする者もいる。自粛している住民もいる中で、そのような者の安全確認することについては弊害も出ることが予想されるので、よく検討したい。

要望 感染リスクの高い職業やリスクのある地域へやむを得ず赴く方など、一定の制限を設けて補助制度を創設すべき。

問 今後のワクチンの供給及び接種の計画は。

答 清井住民課長

「泉周」が最後に上勝に残した言葉は「上勝の山滴りて老土去る」であった。今後も「ご支援をよろしく願います。」

不妊治療・不育治療の助成を

田中

国・県、他の市町村を見て検討する

住民課長

少子化対策支援事業について

問 少子化対策と住民福祉の向上の一環として、不妊症治療及び不育症治療の支援制度を創設すべきと考えるが如何か。

答 清井住民課長

不妊治療の助成は、令和4年の保険適用後に国や県の支援制度を踏まえ、また不育症治療の助成も県下の状況を見ながら検討する。

要望 少子化問題に直面している中、国や他の自治体の様子見ではなく、上勝町として何を為すべきかを考えるべき。不妊

治療などで悩む若い世代の経済的な負担を軽減し、結婚、出産、育児に係る環境を整え、この支援を必要とする町民が現れた場合に即座に対応できる体制を整えることが重要。

問 若者が結婚資金不足が原因で結婚を諦めることが無いよう、政府の支援事業である結婚新生活支援事業を実施すべきでは。

答 花本町長

この補助制度については十分熟知をしていないので、今後、所得制限などの制度設計をもう少し勉強したい。

要望 政府による支援事業であり、町への負担も少ない。若者の結婚を支援するために是非実施するべき。

高齢者の接種では、発熱、倦怠感、嘔吐、筋肉痛の症状を発生した例はあるが、アナフィラキシーなどの強い副反応を発生した例は今のところない。

問 クラスターが心配される学校等の12歳以上の児童・学生や教職員等に優先的に接種できないか。

答 清井住民課長

12歳から15歳までの子供は、保護者に意向調査をした上で接種の体制を整える。

要望 学校等はクラスターが発生するリスクが高いことを念頭に、保護者が希望する場合は、子供たちの命と健康を守るため優先的に接種すべき。

問 キャンセル発生時のワクチンの活用は。

答 清井住民課長

高齢者施設の従事者に接種。7月以降はキャンセル対応リストを作成し、1回目接種が8月以降の

問 今後のワクチンの供給及び接種の計画は。

答 清井住民課長

「泉周」が最後に上勝に残した言葉は「上勝の山滴りて老土去る」であった。今後も「ご支援をよろしく願います。」



田中 寛 議員



前田敏宏 議員

前田

町長

旭菅蔵(しだくら)の山腹崩壊について

県を動かし、しっかり町としてもやっていく

問 現場の土塊の数量、檜原谷の砂防堰堤ホケツトの数量は出たか。

答 中原参事兼建設課長 当該箇所は、地滑り危険箇所に入っており、県の土木・整備局と、現地調査しており、また、その後、山林関係の県農林部局にも協議し状況について説明もしている。山林内での固定は難しく持ち出しが基本となる。地滑り防止区域とあり仮設道等を設ける場合、地滑り活動を助長させてはならないので慎重に考えなければならぬ。今後引き続き総合的観点から必要であれば調べる。

問 消防の方で危険箇所等の検討会があったと思うが、この件について検討したか。

答 中原参事兼建設課長 崩落した場合、既存の砂防ダムがありその機能を有効に活用できるような県にお願いし予算等の確保をしていく。町としては一つの手法として要望をしていく。

問 町としての考えは。

答 花本町長 小さな崩壊には耐えられるが、大きな崩壊には難しい。まずは、動きを観察することが第一。建設課長にも命じている。大雨の後は見回りをし、

問 滑落後の対策を県担当部局と相談すると言っていたが検討はできたか。

答 中原参事兼建設課長 当該箇所は、地滑り危険箇所に入っており、県の土木・整備局と、現地調査しており、また、その後、山林関係の県農林部局にも協議し状況について説明もしている。山林内での固定は難しく持ち出しが基本となる。地滑り防止区域とあり仮設道等を設ける場合、地滑り活動を助長させてはならないので慎重に考えなければならぬ。今後引き続き総合的観点から必要であれば調べる。

旧JA福原施設の活用について



旭菅蔵(しだくら)滑落跡

それを逐次県に伝えていくよう、そして県を動かし、しっかり町としてもやっていきたい。

問 地職住機構は倉庫代わりに使っているように見える。当時、従来の賃貸契約となつているが、地職住には倉庫として契約をしているのか。

答 井本参事兼産業課長 産業会館は、町と商工会が契約をしている。商工会が使用している部分を除いては、商工会と地職住が契約をしている。使用目的は、小売店、食品加工場、事務所として利用することになっている。



旧JA福原事業所

問 今聞いた中では、賃貸契約違反でないのか。

答 井本参事兼産業課長 当初予定していた地域住民の買物支援対策として店舗出店が不調となり、新たな利用方策として企業誘致による事務所、工房等の利用となつている。これについては、平成28年11月29日開催の議会全員協議会で説明をしている。現在、事務所等として使用しており、契約違反までとは言えない。

問 6年間ずつと置いておくというのどうかと思うので、指導し活用してもらいたい。

答 花本町長 撤退するとき話を聞いたが、1日43件ということとで、その極端に言えば1/10か2/10ぐらいしか利用していないけれども、当時荒井組合長との話であるが、福原地区に金融がなくなつたら困るので、自分の間は稼働すると約束している。高鉾地区は相変わらず同じ所にある。

問 農協撤退により、旧の上勝支所ATMとかはどうなっているのか。

答 井本参事兼産業課長 継続している。

テレビ・インターネットなぜ決まらない

明本

総務課長

サービスが変わらないのに、なぜ値上か。との意見がある。

コロナ予防ワクチン注射について

問 住民票が当町にあり、現住所が他町村にある方は、どのような実施方法がとられているか。

答 清井住民課長 全員連絡がとれ、接種計画が出来ている。接種漏れはない。

住民座談会の実施を

問 町長、前の任期では約束の住民座談会を1回しかしなかった。今回は年1回は各地区で開いてもらいたい。

答 花本町長 やりたかったがコロナで開けなかった。下期には開く。

テレビ・ネット料金改訂

明本

問 A(2,000円)、B(3,000円)、C(5,600円)料金案が示されて1年にもなる。勝浦町の意見はどうか。

答 細束参事兼総務課長 ネット利用者は、サービス内容が変わらないのに料金上がる。不公平ではないか、との意見がある。そこは同じ意見であり交渉中だ。

問 「全般的経費525円」は全く実態がない。説明せよ。

答 細束参事兼総務課長 これについては、回線使用料、接続料、メール登録料、宅内保守料、システム運用費、機器償却費、ケーブル徳島までの回線費などIRUの対象となつていない経費だ。

問 両町のA、B、C利用者数実数を明示し交渉すべきだ。

明本恵一 議員



上勝バイオについて

問 利益相反取引契約は、ホダ木単価について結ぶべきであった。今後は改めるべきだ。

答 井本参事兼産業課長 ホダ木の許容購入上限を1億円と取締役会で決めた。単価は170円だ。

問 決算見通しが悪く、ホダ木単価を大幅に下げた大赤字を黒字にした。社長は2社掛け持ちだ。思惑でどうにも変えられない。公平な取引ではないか。

問 IRU契約の使用料と施設保守料のバランスが崩れている。これを是正すればB料金が引き下げられるのか。

答 細束参事兼総務課長 テレビ徳島に照会し把握に努める。

問 コンテナが多数野積みされたまま。風化して廃プラ処分すれば多大な費用がかかるのではないか。

答 花本町長 現在もルールに則った契約をしている。

問 画像処理分別装置(2,388万円)半自動計量パッキング装置(2,500万円)、は放置しておくと使用できなくなる。スクラップにするつもりか。

答 井本参事兼産業課長 2万9千個積まれている。まだ風化していないようだ。産廃処理すれば約500万円かかる。

東簡易水道事業について

問 最近、長時間断水が起こった。徹底調査し、大規模修繕が必要な時期になつていないのか。給水管、取水管が老朽化しているのでは。専門の調査員に委託する考えはあるか。

答 中原参事兼建設課長 専門の方も入れて、一応調べている。



野積みされたコンテナ



半自動軽量パッキング装置

資源を大切にす町政を



酒井直美 議員

子ども達の体力について 酒井

全国平均を上回っている 教育長

問 前同様、ゴミの回収率調査は、進んでいるか。

答 吉積企画環境課長 H25年調査と同時期に同様の調査を予定。調査員配置に約70万円の費用を要する。

要望 多額な費用をかける必要はない。上勝町は年間283tのゴミ排出量のデータがある。回収量を比較すれば率は出る。また、ポイントカード使用率からも世帯利用率が分かる。ゴミを出さないを理念の基、継続的な調査を依頼する。

問 広報に視察者数が載るが、町内経済、活性化にどう繋がっているか。

答 井本参事兼産業課長 宿泊施設、飲食店の利用、農家さんへの訪問といった事で、地域活性化になっている。

要望 最終的には交流人口、関係人口の増が目的となる。その辺りの効果報告が必要。数字遊びにならないよう期待する。

問 災害等有事の際は、町職員の役割は大きい。若手職員・町外通勤職員が増える中、職員を対象とした防災訓練の計画はあるか。

答 細末参事兼総務課長 上勝町総合防災訓練を計画している。職員を対象とした安否確認情報伝達訓練も予定している。

要望 数年前に実施された様な本庁にたどり着くまでを想定した訓練が必要。

本庁トイレの改修

問 様式も古く、老朽化も見られる。女性職員も増え、今後の身障者雇用の考えれば、本庁トイレの改修が必要である。予定はあるか。

答 細末参事兼総務課長 既に38年が経過しており、衛生面には気をつけている。現在は、住民が使用する公共施設等の改修を優先している。今後の検討課題とする。

問 簡易水道断水により小学校内では、トイレの排水・手洗水の確保等で教職員はてんでこ舞いだった。緊急時、災害時の対策として、貯水槽が必要と思うがいかがか。

答 傍示教育委員会事務局 中学校にはあるが、小学校にはない。生徒数が少なく、水の使用量も少ない。衛生管理が難しく、簡易水道直結にしている。

災害時の対策については、関係各課と検討する。

要望 学校内で児童を一時待機させる事態を想定すると、保存用飲料水とは別に生活用水が必要となる。プール・川からのポンプアップ等、早目の検討を期待する。

問 スクールバスの運用デジタルゲームの進化で全国的に子どもの体力低下が問われている。幼少期では、運動機能は脳の発達に結びつき、学期期は勤勉性が発達する時期である。この時期の体力低下は、姿勢の悪化、集中力の低下をまねく。上勝の子ども達の状態はどうか。また、体力低下防止への取り組みは。

答 立川教育長 R2年度の体力測定結果では、調査種目8種目中男女ともに6種目で全国平均を上回っている。対応としては、週一回の徒歩登校・朝のスポーツタイム等教師とともに外

遊びの習慣化を図っている。ヴォルティス等の地域貢献活動を利用し、楽しく遊びながらの体力づくり、食育の充実も重要と考えている。

要望 全国平均値を上回れることは良いが、上勝の場合は分母が小さいため、引き続き注視していただきたい。

問 中学生には、どのような対応をしているか。

答 立川教育長 週3時間の体育授業、部活動(勝浦中合同チーム2)、ジョギングタイムを作っている。各駅伝大会で結果が少しずつ出て来ている。

要望 徳島駅伝にも参加者が増える事を期待する。

要望 ワクチン接種について、県内では、中学校に感染者が出ており、感染の低年化が危惧される。教育従事者への優先接種を要望する。



日下一茂 議員

高齢者等の安心・安全を見守るシステムは構築している

見守るシステムを構築している 住民課長 日下

高齢者等の安心・安全を見守るシステムについて

問 高齢者及び重度心身障害者の見守りシステムとはどのようなものか。

答 清井住民課長 高齢者及び重度心身障害者等の急病や災害等緊

急時の迅速かつ適切な対応を行い、高齢者等の安心・安全を見守るシステムだ。高齢者等の自宅に設置し、急病や災害時に機器の緊急ボタンを押すと登録している協力員へ電話で通報が入る。また、安否センサー三個を天井に取り付け、動いている事を離れて暮らしている



見守りシステム

家族がパソコン・携帯電話等で閲覧でき、グラフで表示される。対象者は町内に住所を有する概ね六十五歳以上の独り暮らし高齢者、概ね八十歳以上のみで構成される世帯に属する方、重度心身障

害者又は重度心身障害者のみの世帯に属する方だ。機器は町から無償貸与で設置費用は不要。端末の電気代、送信機の電池代、緊急通報を発信した時の電話代が必要だ。



上寺内分譲地

上寺内町営住宅分譲地について

問 上寺内町営住宅敷地の分譲は決定したのか。

答 清井住民課長 システムの申込み等については、家庭の状況が解かる方が、民生委員、住民課に相談を。

答 中原参事兼建設課長 敷地造成は三月に仕上がりが、現在、測量業務を発注している。それに基づき、面積を確定し、分譲に向けて進める。

答 花本町長

上寺内の二区画は分譲地として受付をしてみた。



高石雅弘 議員

高石

町長

苗木補助はどうするのか

一般の補助率を60%か65%で検討

町長選での公約(後援会だより)について

問 「苗木補助の拡充」は具体的にどうするのか。

答 花本町長

現在、認定農業者の補助率は80%、一般の方は50%である。一般の方の補助率を60%か65%で検討したい。

要望 70%にしてほしい。

問 「彩農家の出荷支援と技術習得、後継者育成」とは、具体的にどのようなことか。

答 花本町長

現在(株)いるどりで2名

人材派遣という形でやっているが、人数を増やすなど支援をしていきたい。意欲のある若者を募集し農家の支援をして、さらに後継者育成へもつなげたい。

問 「森林整備」において、「上勝町の森林資源を活用した政策」とは、具体的にどのようなことか。

答 花本町長

森林環境譲与税が令和元年から交付されており、今後かなりの額が交付される予定なので有効に使用したい。搬出間伐で出た木材を、(株)もくさんにある機械や施設を使って加工品を作り、上勝に利益が伴うような形にしたい。製材機能も持たせたい。

かみかつ森林環境公社について

問 かみかつ森林環境公社の理事に、花本町長、吉積課長、西利一氏の3人がなった経緯は。

答 吉積企画環境課長
現在は一般社団法人(理事2名以上)だが、将来的に公益財団法人格(理事3名以上)の取得を目指している。そのため、設立目的に賛同し、責任を持って運営する者として3名の理事を決定した。

問 花本町長、吉積課長は公人、個人のどちらか。

答 吉積企画環境課長

公職の上勝町長花本靖個人としての吉積弘成で理事になっている。

問 吉積課長は個人として入っているが、町の職員内で公募したのか。個人であれば、退職後も理事を続けるのか。

答 吉積企画環境課長

公募ではないが、当時産業課長だったので手を挙げた。

退職後のことは、理事の花本町長と西代表理事と相談して決定したい。

いいのか、県で現在協議をしている。

高丸山町道について

問 木が大きくなり、バスなどの大型車両が通りにくくなっている。伐採など対応してもらえないか。

答 中原参事兼建設課長

現地を確認したところ、まずは草刈りを考えている。状況を見て検討していきたい。

町水道について

問 今回と同じように、5年前にも藤川地区で断水があった。今回の断水の原因は。

答 中原参事兼建設課長

今回269棟で断水。導水管の中に木の根が入り込んで、流水を阻害したことになる断水。

問 前回の断水の際にも言ったが、全管新しくしてはどうか。

問 森林環境譲与税を使い、重機等も行政から無償で貸与されるので、赤字も倒産も考えられない。全国で第三セクターが減少しているなか、新たに第三セクターを作るのではなく、(株)もくさんにその部門を持っていくことは考えなかったのか。

答 花本町長

(株)もくさんでは過去に林業の生産部門もあったが、職員の事故事例もあり、なかなか難しい。今回は専門職でやっていき、上勝町の森林資源の開発、保守のため、別組織を設立した。

要望 (株)もくさんでも専門職を雇うことは可能だと思う。

6月の徳島新聞に、「岐路に立つ第三セクター」の記事があった。内容は、「長年ずさんな経営状況を見抜けなかったチェック体制の改善も必要。これまで監査役は町議と金融機関が持ち、取締役は議長や町長が務めてきた。

チェックするのが身内である上、取締役会は年一回で、放漫経営の温床となった。」である。上勝の第三セクターの代表取締役会長は町長であり、よく似た状態である。このような状況で第三セクターをずっと運営するのはなく、検証して変えていく必要があると考える。

上勝小学校上の町道(通称ラクタ道)の側溝について

問 側溝があるため走りにくい。中央線を越えて走ってくる車も多く、事故につながる可能性が高い。以前に建設課には話をしていたが、今後どのような対策をするのか。

答 中原参事兼建設課長

側溝をコンクリートで埋めてはどうかと検討している。白線の引き直しについては、安全性の確保を考慮し、有効性を確認してから判断になる。

答 花本町長
道路については、交通量等色々なものを建設課で管理している。このことから、調査をし、順番づけを行って行くため、全て対応できるものではない。規模が小さければ、すぐには対応出来ないの、何箇所か合わせるなどし、色々な工夫をしながら修繕をしている。

答 中原参事兼建設課長

傍示・北山様宅裏は260メートル程あり、多額の費用がかかる為、地方債などを活用できるように、考えて行きたい。椋原・谷崎様宅手前の道については、補正予算等で対応していきたい。

問 数年前、槻地で落石防止ネットを張ったが、まだ必要な所がある。対応していただけないか。

答 中原参事兼建設課長

当時、落石が見られた場所であり、優先的に整備してきた。今後、現場の状況を確認し、検討していきたい。

住民の声を優先的に できるだけ早く対応 したい

岡本

企画環境課長

ゴミステーション について

問 補正予算の中に、トラックスケールの滑り止めの工事費用を計上していたが、今までの要望はどうなっているのか。

答 吉積企画環境課長

住民の声を真摯に受け止め、出来る事からやっけて行く。一部の雨樋の設

置と、トラックスケールの滑り止めが主なもの。雨樋の設置は終わり、一部工事を残すのみ。住民の声をしっかりと聞き、素早い対応をしていきたい。

要望 町外からの車が道の駅と間違えて入って来る事があるので、大きな看板等を設置してもらいたい。

問 県道の草刈について、今年から、シルバー人材センターへの委託はなくなった。今後の対応は。

答 中原参事兼建設課長

町で請け負って出来るか検討しているが、本来、道路管理者がすべき事を、町に委託するのが

問 県道の草刈について、今年から、シルバー人材センターへの委託はなくなった。今後の対応は。

答 中原参事兼建設課長

町で請け負って出来るか検討しているが、本来、道路管理者がすべき事を、町に委託するのが

町道について

問 傍示・北山様宅裏の旧道、椋原・谷崎様宅手前アスファルトが割れ、浮いたような状態になり危険である。早急に対応してもらえないか。

答 中原参事兼建設課長

当時、落石が見られた場所であり、優先的に整備してきた。今後、現場の状況を確認し、検討していきたい。

まちのようす



生実 田植え



南岡彩公園 つつじ剪定



生実 トボス出役



勝浦川 鮎の解禁



福川 正木トンネル下 集落再生事業



川西 サルビア



(口下)

議会だより編集に悪戦苦闘しております。「読みやすく、解り良い議会だより」をモットーに頑張ります。皆様のご意見ご指導をよろしくお願ひします。

暑中お見舞い
申し上げます。

編集後記